

事業所名		多機能型事業所めいみい				支援プログラム（児童発達支援）				作成日	令和7	年	2	月	28	日
法人（事業所）理念		「子どもたちの笑顔」「子どもたちの大好きなパパ・ママの笑顔」を大切に、多方面から子どもや保護者をサポートし、障がいがある子どもも、そうでない子ども全ての子どもの伸び伸びと過ごせる場所を提供します。														
支援方針		「できた！」の喜びが明日のえがおに 発達に不安を感じている保護者に寄り添い、相談しやすい場所の提供をします。ひとりひとりに合ったサポート、援助ができるよう、子どもの最善の利益を考え、ご家族や各所関係機関と協働します。すべての子どもたちが、将来、社会の一員として幸せに暮らせるよう、遊びを通じてその土台作りのお手伝いをします。														
営業時間		9	時	0分	から	18	時	0分	まで	送迎実施の有無		ありなし				
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善：子どもの特性や発達の過程に配慮し、小さなサインにも気づけるよう観察を観察や保護者への聞き取りを行う（体温測定・気分の把握） ○生活習慣や生活リズムの形成：睡眠・食事・排泄等の基本的な生活習慣を形成し、自ら楽しんで獲得できるように支援を行う。また、特性に応じ時間や空間を分かりやすい環境調整を行う（部屋のレイアウト・表示の工夫）														
	運動・感覚	○基本的な動作や姿勢、筋肉に緊張や緩和、また、環境や目的に応じた応用的な動作や感覚の発達が促すことができるよう支援を行う（屋外の遊具やボール、風船などの活用） ○身体的な運動や感覚に特性に応じ、補助的・代替的手段の活用ができるよう支援を行う（装具やテーブル・椅子の工夫）														
	認知・行動	○認知の特性についての理解と対応：個人の特性を理解し、こだわりに対する支援を行う ○行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生ずる行動障害の予防や対応を特性に応じた支援を行う（活動内容の伝達、習慣化・統一した声掛け・支援）														
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上：表情や身振り、単語の理解や発声など活動を通し学びの支援を行う ○状況に応じたコミュニケーション：絵カード等の視覚的な道具の使用やクイズ形式で場面に合わせた言葉の使い方を知ったり、想像する力をつけ、他者とのコミュニケーション方法の支援を行う														
	人間関係 社会性	○アタッチメントの形成と安定：基本的な信頼感を持つことができるよう環境や人に対する信頼感や居場所が持てるよう支援を行う ○遊びを通じた人間関係・社会性の発達：一人遊びから並行遊び、協同遊びなど、発達段階や特性に応じた人間関係・社会性の発達を支援する ○集団への参加：集団に参加するための手順やルールを理解し、共に活動することを通じて、他者の存在を認め合い、仲間づくりにつながるよう支援する														
家族支援		・家族からの相談に対する適切な相談援助 ・家族（きょうだい児）の行事参加							移行支援		・園や学校への情報提供 ・地域の施設利用、行事参加					
地域支援・地域連携		・地区事業所連絡会参加（研修、事例検討） ・園や学校など情報共有や支援方法に関する相談援助等							職員の質の向上		事業所内研修（ミーティング）、事業所外の研修参加、資格取得支援					
主な行事等		夏季の水遊び、遠足（水族館・動物園）、ハロウィンパーティ、クリスマス会、バレンタイン、その他、屋外活動（公園、買い物、公共の施設利用）の定期的な実施														

事業所名		多機能型事業所めいみい				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日	令和7	年	2	月	28	日
法人（事業所）理念		「子どもたちの笑顔」「子どもたちの大好きなパパ・ママの笑顔」を大切に、多方面から子どもや保護者をサポートし、障がいがある子どもも、そうでない子ども全ての子どもが伸び伸びと過ごせる場所を提供します。														
支援方針		「できた！」の喜びが明日のえがおに 発達に不安を感じている保護者に寄り添い、相談しやすい場所の提供をします。ひとりひとりに合ったサポート、援助ができるよう、子どもの最善の利益を考え、ご家族や各所関係機関と協働します。すべての子どもたちが、将来、社会の一員として幸せに暮らせるよう、遊びを通じてその土台作りのお手伝いをします。														
営業時間		9	時	0分	から	18	時	0分	まで	送迎実施の有無		ありなし				
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善：子どもの特性や発達の過程に配慮し、小さなサインにも気づけるよう観察を観察や保護者への聞き取りを行う（体温測定・気分の把握） ○生活習慣や生活リズムの形成：睡眠・食事・排泄等の基本的な生活習慣を形成し、自ら楽しんで獲得できるよう支援を行う。また、特性に応じ時間や空間を分かりやすい環境調整を行う（部屋のレイアウト・表示の工夫）○習慣化された生活から応用的な生活の行動への対応の支援														
	運動・感覚	○基本的な動作や姿勢、筋肉に緊張や緩和、また、環境や目的に応じた応用的な動作や感覚の発達が促すことができるよう支援を行う（屋外の遊具やボール、風船などの活用） ○身体的な運動や感覚に特性に応じ、補助的・代替的手段の活用ができるよう支援を行う（装具やテーブル・椅子の工夫）														
	認知・行動	○認知の特性についての理解と対応：個人の特性を理解し、こだわりに対する支援を行う ○行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生ずる行動障害の予防や対応を特性に応じた支援を行う（活動内容の伝達、習慣化・統一した声掛け・支援）○外部環境への適応の支援を行う（様々な場所や人の中での活動）														
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上：表情や身振り、単語の理解や発声など活動を通し学びの支援を行う ○状況に応じたコミュニケーション：絵カード等の視覚的な道具の使用やクイズ形式で場面に合わせた言葉の使い方を知ったり、想像する力をつけ、他者とのコミュニケーション方法の支援を行う○主体的なコミュニケーションの広がり（個別から集団へ）														
	人間関係 社会性	○アタッチメントの形成と安定：基本的な信頼感を持つことができるよう環境や人に対する信頼感や居場所が持てるよう支援を行う ○遊びを通じた人間関係・社会性の発達：一人遊びから並行遊び、協同遊びなど、発達段階や特性に応じた人間関係・社会性の発達を支援する ○集団への参加：集団に参加するための手順やルールを理解し、共に活動することを通じて、他者の存在を認め合い、仲間づくりにつながるよう支援する														
家族支援		・家族からの相談に対する適切な相談援助 ・家族（きょうだい児も）の行事参加							移行支援		・園や学校への情報提供 ・地域の施設利用、行事参加					
地域支援・地域連携		・地区事業所連絡会参加（研修、事例検討） ・園や学校など情報共有や支援方法に関する相談援助等							職員の質の向上		事業所内研修（ミーティング）、事業所外の研修参加、資格取得支援					
主な行事等		夏季の水遊び、遠足（水族館・動物園）、ハロウィンパーティ、クリスマス会、バレンタイン、その他、屋外活動（公園、買い物、公共の施設利用）の定期的な実施														